

令和6年度公益財団法人静岡県文化財団 事業計画

I 基本方針

本財団では、「第5期静岡県文化振興基本計画」を踏まえ、県の文化政策を具現化する組織として、文化芸術の振興と国内外の交流を推進している。

令和6年度は、令和5年度に改定した静岡県文化財団中期構想を具体化していく初年度となるが、グランシップ企画事業を始めとする文化事業においては、「未来を担う子どもたちのために」「あらゆる世代の多様なニーズに応える」「集いと創造の拠点」「伝統芸能の継承と発展」を柱に、文化プログラム及び東アジア文化都市 2023 静岡県の成果を踏まえ、静岡県ならではの事業を企画するとともに、文化団体等との協働を図る。

また、テレビ番組のレギュラーコーナーの枠を押さえ、グランシップ企画事業だけでなく、教育普及活動等の財団活動を幅広く、定期的に広報する。

アーツカウンシルしずおかにおいては、県民全てが芸術文化活動の当事者となることを目指して創設から3年間で蓄積した実績を礎に、地域のクリエイティブ人材^{*}や、行政、企業等のパートナーシップをさらに発展させる施策を進めていく。

あわせて、社会的投資としての文化政策の投資評価により、今後の文化政策への提言に取り組む。

グランシップの施設利用に関しては、令和5年度に県がグランシップに整備した高速通信回線を活用する等、施設の強みを活かし、コンベンションの誘致と施設利用件数及び利用率の向上を図り、国内外との交流の拠点としての役割を果たす。

加えて、東静岡駅南口に整備される新県立図書館の建設に合わせ、グランシップ広場の活用等により東静岡地区全体の賑わい創出に取り組む。

財団運営については、静岡県の文化政策の具現化を実行する組織としての役割を果たすため、財務体質の強化を図るとともに、専門家集団にふさわしい人材の育成と確保を推進する。

(※) 地域の住民等の創造性を引き出すアーティスト、アートディレクター、クリエイター等

【財団の担う役割】（改訂静岡県文化財団中期構想より）

- ・多様化するニーズに応え、次世代を担う子どもたちをはじめ、全ての県民が多彩な文化芸術に触れられる環境を創る。
- ・地域資源の活用や社会課題への対応を図る社会の様々な分野の担い手の創造的な活動を積極的に支援するとともに、担い手となる人材を育成する。
- ・学術・文化芸術への支援と、国内外との交流を促進する。
- ・新しい時代に対して、足腰の強い財団経営を実現するとともに、職員の知見を高め、一致協力して業務に取り組む専門家集団を目指す。

II 事業概要

(1) 文化芸術の振興

コロナ禍を経て社会状況が大きく変化し、個々のニーズも多様化する中で、文化芸術の本質的価値を踏まえ、次世代を担う子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、全ての県民が多彩な文化芸術に触れられる環境づくりを進めるため、グランシップ企画事業を中心に県受託事業や財団独自事業にも積極的に取り組む。

事業の組立は、中期構想の項目である「未来を担う子どもたちのために」「あらゆる世代の多様なニーズに応える」「集いと創造の拠点」「伝統芸能の継承と発展」の4つの項目と、「心を豊かにする多彩な鑑賞」「関心・理解・親しみを深める教育普及」「誰もが主人公となる県民参加」の3つの事業形態により重層的に構成する。また、静岡にゆかりのあるアーティストの起用や、静岡の文化資源を活用する等、静岡の要素を含む事業を『静岡印』の事業と称し展開することで、グランシップや静岡への愛着が再認識されるきっかけづくりを進めるとともに、県民がつくり手となる「協働事業」に取り組む。

また、アーツカウンシルしずおかにおいては、県民すべてが表現者となることを目指し、これまで蓄積した経験とノウハウを活用しながら、創造的な活動への支援事業の強化、新分野でのパイロット事業の深堀り、人材育成・ネットワーク化事業等に取り組み、文化を取り巻く人々のプラットフォームとして地域の文化を支援していく。

【中期構想項目別の内訳】

| 項目 | 事業本数 | 入場者数 |
|-------------------|------|--------|
| 未来を担う子どもたちのために | 21 | 26,950 |
| あらゆる世代の多様なニーズに応える | 19 | 17,320 |
| 集いと創造の拠点 | 3 | 36,000 |
| 伝統芸能の継承と発展 | 4 | 2,240 |
| 合計 | 47 | 82,510 |

【事業形態別の内訳】

| 事業形態 | 事業本数 | 入場者数 |
|-------------------|------|--------|
| 心を豊かにする多彩な鑑賞 | 20 | 16,240 |
| 関心・理解・親しみを深める教育普及 | 17 | 7,920 |
| 誰もが主人公となる県民参加 | 10 | 58,350 |
| 合計 | 47 | 82,510 |

※ グランシップ企画事業：47事業、82,510人 人材育成事業：2事業、490人 計：83,000人

① 文化芸術との幸せな出会いの提供による寛容な社会の形成

子どもの年齢・成長段階に応じたプログラムや鑑賞支援策、多様化するニーズや財団をとりまく環境の変化も視野に入れた公演事業等に取り組むことにより、次世代を担う子どもたちを始め、全ての県民が多彩な文化芸術に触れられる環境を創ることで、多様性を認め合う寛容な社会の形成に寄与する。

ア 未来を担う子どもたちのために

静岡県で育つ子どもたちが地域格差や所得格差にかかわらず文化芸術を体験する機会を提供する。

(ア) 年齢・成長段階に応じた事業、子ども・学生への鑑賞支援の実施

- ・「グランシップこどものくに」や「冬のおくりもの」といった季節に合わせて親子で楽しめるイベントや、ワークショップと公演の開催で文化芸術がより身近になる「こども音楽劇場」等、文化芸術に初めて触れる『はじめての劇場しずおか』に相応しい、多彩で感性を育むプログラムを実施する。
- ・地域・生活環境による子どもたちの文化芸術の体験格差解消を目指し、積極的に県内各地の学校等に出向く「こどもアート体験！学校プログラム」（アウトリーチ）、県内文化施設と連携した出前公演を実施する。「こどもアート体験！学校プログラム」は、児童生徒の年齢や地域の特性、学校の希望等を考慮した、グランシップオリジナルプログラムを提供。第一線で活躍するアーティストの演奏・実演を通して、子どもたちが文化芸術への関心を高め、新しい世界への扉を開くきっかけを作る。加えて、福祉団体と連携したひとり親家庭等への招待事業を新たに開始する。
- ・昨年度に引き続き「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」・「中高生のためのオーケストラ」を実施し、若い世代が本物の文化芸術に触れられる取り組みを継続する。また、学校・部活単位等での劇場体験を促進する「中高生鑑賞プラン・交通費支援」制度、原則1,000円の「こども・学生チケット（座席指定可）」、県内全高校生を対象に県内の文化ホールの公演情報（年間100本超）を提供し、観劇ごとにポイントが貯まる「高校生アトラリー」等、子どもたちの文化芸術体験を促進する事業も同様に実施する。
- ・上記支援事業を将来にわたり継続していくため、企業協賛を募る「グランシップ 子どもたちのための文化芸術プロジェクト」を開始する。

(イ) 県委託事業の実施

- ・財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして、県委託事業である「子どもが文化と出会う機会創出事業」を引き続き実施する。

| 内 容 | 期間等 |
|---|-------------------|
| 県内プロオーケストラによる ・地域訪問プログラム ・未就学児対象コンサート | 令和6年5月～ 令和7年3月 |

イ あらゆる世代の多様なニーズに応える

次世代のグランシップファンの獲得、県民ニーズを意識した事業を実施する。

- ・音楽や舞踊などの鑑賞公演及び参加型のイベント、公演の理解を深めるための事前レクチャーなど、地域・世代・障がいの有無等に関わりなく、全ての人々に対して、あらゆるジャンルの文化芸術の提供に取り組むとともに、誰もが気軽に足を運ぶことができ、何らかの情報や感動が得られ、一緒に創り参加することができる環境づくりを進める。

(7) 静岡ゆかりのアーティストの起用

浜松市出身のピアニスト・仲道郁代がソリストとして出演する「東京フィルハーモニー交響楽団名曲コンサート」、熱海市出身の落語家・入船亭扇遊による「グランシップ 寄席」など、静岡ゆかりの実演家による公演を実施することで、県民の関心を高め、文化芸術に触れるきっかけづくりとする。

(4) 新たな客層への訴求

俳優・田中圭や奈緒が出演する演劇「メディスン」、ゲーム音楽を吹奏楽で演奏する「GAME MUSIC on BRASS」、枠にとらわれない新しいジャズシーンを生み出す「Banksia Trio」など、これまで開催していない公演を実施し、次世代のグランシップファン獲得を目指す。

(4) 県民との協働事業の実施

地域の文化団体や、県内で文化芸術に取り組む学生と共に、グランシップを活躍の場として「グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル」、「グランシップ誰もがWonderful アート」、「グランシップ冬のおくりもの コンサート」など、多くの人々がグランシップに足を運び楽しめる協働事業を実施する。

(4) 期待に応える鑑賞機会の提供

国内最高峰のオーケストラであるNHK交響楽団によるコンサートや、国内外の第一線で活躍するジャズピアニスト「小曾根真&アンドレ・メマーリ」など、人気実力を兼ね備えた出演者による公演、長年の取組みが定着している「しずおか連詩の会」、「人形浄瑠璃文楽」など、県民の期待に応えるラインナップを揃え、幅広いジャンルの公演を実施する。

ウ 集いと創造の拠点

(7) 集いと発信の拠点

- ・日本最大級の鉄道模型イベントであり、鉄道愛好者だけでなく家族皆で楽しめる「グランシップトレインフェスタ」を引き続き実施し、プラモデルの国内出荷額1位で聖地でもある静岡のブランドを発信する。また、例年開催している「グランシップこどものに」と、『しずおか型ガストロノミーツーリズム』の魅力・認知度を高めるイベントとして令和6年度に実施する「グランシップ食彩フェスティバル」は、「グランシップ・スプリングフェスティバル（仮）」として同時開催する。グランシップを舞台にあらゆる世代が楽しむことで、グランシップが多くの人々が集うにぎわいの場となり、共に生きる絆を形成するための文化拠点となるよう活用する。
- ・アートプロジェクト*に係る広く一般に向けたフォーラム、セミナー及び講座等を開催することで、人々の創造性や潜在的な課題意識に働きかけ、住民主体の創造的取組の担い手および担い手を目指す人材の育成に繋げる。
- ・「ふじのくに芸術祭」の開催やグランシップの施設利用を促進することにより、鑑賞機会の提供のみならず、参加者が主体的に学術・文化芸術を創造、発信できる機会を多く提供し、人々の心豊かな県民生活の実現に寄与する。

(※) 社会の様々な分野の担い手による地域資源の活用や、社会課題に対応した創造的な取組

(イ) 効果的な広報

- ・グランシップが実施する公演・イベントに多くの県民が鑑賞・参加することで、多くの人が集い、多彩な文化芸術に触れ、心豊かな生活を実現できるようにするため、届ける地域や世代を意識して幅広く情報を発信する。
- ・テレビ番組のレギュラーコーナーの枠を押さえ、定期的に幅広く情報提供を図るほか、公演内容やターゲットに合った各種媒体を複合的に活用するとともに、広くスピーカーに多様な情報発信ができるウェブを中心とした取り組みを行う。
- ・財団ウェブサイトにおいて、グランシップ及びアーツカウンシルの専用サイトと連携して、静岡県の文化芸術の魅力、財団活動、役割に関して積極的に発信する。
- ・様々なジャンルの公演を楽しむためのメンバーシップ制度である無料の友の会制度を継続して実施し、グランシップファンを拡大する。
- ・各事業はPDCAの視点で、それぞれの部署や事業内容に応じて評価制度を設け、アンケート調査やモニター会議、利用者会議などを実施して様々な角度からの意見や評価を取り入れ、事業の成果を的確に把握するよう努める。

エ 伝統芸能の継承と発展

- ・日本の伝統芸能を次世代継承するため、ユネスコ世界無形文化遺産である「能楽」に加えて「歌舞伎」「人形浄瑠璃文楽」等を紹介する。
- ・「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」「能楽入門公演」「人形浄瑠璃文楽」は解説付きの公演で、伝統芸能をはじめて体験する方や学生にも、分かりやすく楽しめる事業として実施する。
- ・「グランシップ寄席」は本県出身の落語家による公演とし、落語を楽しむだけでなく静岡県の魅力を再発見できる公演とする。
- ・小中学校において実施する「グランシップこどもアート体験！」(アウトリーチ)では、文楽や狂言に加えて、東海道の拠点である本県を題材するものも多い日本の話芸である講談、浪曲などを実施し、子どものうちから日本の伝統芸能に触れる機会を創出する。
- ・県内の大学と連携した「伝統芸能普及プログラム」では、大学生が歌舞伎、文楽、講談、浪曲などについて、体験を交えながら演者に触れられる機会を創出し、次世代への紹介の機会とする。
- ・令和6年度は、静岡県が関東ブロックの伝統芸能フェスティバル主催県となっていることから、事業の成功や理解促進に向けて、広報等を中心に県に協力していく。

② 文化を取り巻く人々のプラットフォームとして地域の文化を支援

「アーツカウンシルしずおか」は、令和3年の創設から3年間、すべての県民をつくり手として、誰もが有する創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献するため活動を続けている。各分野でのアーティストの活動機会の拡大やアートプロジェクトの未助成地域での住民プロデューサーの掘り起こしを推進する。

また、文化の担い手を育成するため、グランシップ登録アーティスト制度を継続するとともに、グランシップの事業運営に誰でも参加・参画できるよう、サポーター制度の見直しを図る。

ア 社会の多様な担い手による創造的活動の支援

(7) 文化芸術による地域振興プログラム

アートプロジェクトを支援する助成制度を引き続き運用する。あわせて、文化芸術と社会をつなぐアートマネジメントの専門的人材であるプログラム・ディレクター及びプログラム・コーディネーター（以下「専門職員」という。）が、事業を進めるに当たっての助言等、担い手のニーズに合わせた伴走支援を行う。

特に、継続支援団体には文化政策実現の牽引者としての役割を期待した支援を図る。

| 助成の対象 | | 助成金額 上限 | 助成率 |
|-------------|----------------------------|------------|-------------------------------|
| 事業の区分 | 対象 | | |
| 地域クリエイティブ支援 | 先駆的事业を行うプログラム | 5,000千円 | 助成対象経費の 4分の3以内又 は2分の1以内 |
| 地域はじまり支援 | 先駆的事业の実施に向けて 試行的に取り組むもの | 300千円 | 助成算定経費※ の10分の10 |

(※) 助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入（自己資金を除く）を控除したのち助成対象経費に該当する経費

(イ) 相談窓口の運営

相談窓口では、アーティストやアートプロジェクト主催者、アーティストとのネットワークを構築したい企業の方など幅広い相談需要に応えるため、専門職員に加え、弁護士や税理士、中小企業診断士が随時相談に応じるとともに、幅広い見識をもつ特別相談員による相談会を開催する。

令和5年度に開催した出張相談窓口を令和6年度も継続して実施する。

(ウ) パイロット事業

社会課題に対してアートによる解決策を提示するため、パイロット事業を行い、その成果を自治体等への提言に繋げる。

令和5年度に実施した「クリエイティブ人材空き家等活用モデルプログラム」では、クリエイティブ人材の独自の視点や手法で、空き家等の新しい活用方法の提案や試行を行った。あわせて東部地域の空き家関連事業者によるワーキンググループを開催した。

令和6年度においても、「クリエイティブ人材空き家等活用モデルプログラム」を展開し、その成果を関係団体に提示することで、クリエイティブ人材に対する地域の理解や期待感を醸成し、活動領域の拡大等を目指す。

(エ) データベース化

アーツカウンシルしずおかで蓄積した、企業や行政等が活用し易い地域の文化資源、文化活動、活動団体、アーティスト、メセナ活動、国内外の先進事例等の調査研究を新たな創造活動に活用できるよう、データベース化を進める。

(カ) グランシップ登録アーティスト、公立ホール連携支援研修

地域で文化芸術活動を行うアーティストの活用、県内の公立文化施設職員の研修により文化の担い手を育成する取り組みとして、グランシップ登録アーティスト制度、公立ホール連携支援研修を実施する。

| 事業 | 対象 | 内容 |
|-------------|---|--|
| 登録アーティスト制度 | 第一期登録アーティスト 4組11人・3年目 第二期登録アーティスト 3組9人・1年目 | 学校アウトリーチへの出演 グランシップ事業内で開催するミニコンサートや、第一期卒業・第二期おひろめコンサートの実施 |
| 公立ホール連携支援研修 | 県内公立文化施設 職員等30人・延べ90人 | これまでの研修形態を見直し、文化政策に関する共通回のほか、経験年数に応じた2コース3日間の開催とし、希望者がより参加しやすく、ニーズに沿った内容で実施。 |

(ク) グランシップサポーター

グランシップの円滑な事業運営を図るため、文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得る「グランシップサポーター事業」を継続すると同時に、25年前の開館当初に構築し維持してきた仕組みを、様々な県民がより参加しやすいサポーター事業となるよう見直しを進める。

イ 様々な分野との連携

(ア) 人材育成、ネットワーク化事業

アーツカウンシルしずおかでは、社会の様々な分野における課題の解決に資するため、企業、大学、市町等とのネットワークづくりを図り、ワーキンググループや意見交換会を開催する。

令和6年度については特に空き家、空き店舗等の利活用をテーマに取り組む。

(イ) 調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言

これまで実施してきたセミナーや調査研究の結果等を踏まえ、専門職員が参画する県・市町の文化事業において、助言・提言等を行っていくとともに、関係部署に調査研究の結果等を発信していく。

(ウ) セミナー、フォーラムの開催

令和4年度に開催した地域づくりフォーラムから企業との連携の例が生まれたことから、今後も、行政や企業とクリエイティブ人材のマッチングが図られることを目的としたフォーラム等を開催する。また、住民プロデューサーや、社会課題への対応を図る人材、様々な分野との連携を目指すアーティスト、企業等を対象に研修等を行う。

(エ) クリエイティブ人材の派遣

自治体や企業を対象に、対象事業に関わる人々の創造性を引き出すためにクリエイティブ人材を派遣する制度。令和5年度に企業への派遣の実例ができたため、これを企業等に提示しながら同制度を紹介していくことで、クリエイティブ人材とのマッチングを行い、同人材の活動領域を拡大するとともに、アートの力を活用した創造的な取組が活性化することを目指す。

(オ) マイクロ・アート・ワーケーション

令和3年度から実施しているマイクロ・アート・ワーケーション(MAW)は、文化芸術の力をまちづくり等、様々な分野に派生させるとともに、地域とクリエイティブ人材双方に多様な効果を生み出す取組として、県内外から評価されている。

【MAWとは】

- ・ワーケーションを行うクリエイティブ人材(旅人)と、旅人を迎え入れ地域住民との交流を支援する団体(ホスト)を募集し、マッチングを実施
- ・旅人は約1週間ホストの活動エリアに滞在し、地域の魅力をウェブサイトで発信
- ・ホストは、地域案内や住民との交流会等をコーディネート

これまでにMAWを実施した地域からは、「文化芸術による地域振興プログラム」への応募も見られるなど、本事業をきっかけとした新たなアートプロジェクトを展開する動きもみられる。

令和6年度も引き続き「文化芸術による地域振興プログラム」未実施地域を中心に、住民プロデューサーを発掘し、新たなアートプロジェクトの創出につなげるため、住民とクリエイティブ人材が会うきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加に寄与することを目的に、クリエイティブ人材のワーケーションを促進する。

(カ) ふじのくに地域づくり創造賞

- ・令和5年度に新たに実施した「ふじのくに地域づくり創造賞」を引き続き実施する。文化芸術団体の活動支援を進めると同時に、財団が考える、社会課題への対応や地域資源を活かした創造的な活動を通して、『新しい価値を暮らしの中に』創造していくという「文化活動」の新しいあり方や理念をメッセージとして伝える機会とする。
- ・県公立文化施設協会などの団体事務のほか、全国公立文化施設協議会関東甲信越静支部技術部会・会長館の業務を担うことを通じて、静岡県だけでなく更に広域的な連携を図り、文化芸術が生活に根差す土壌づくりを進める。

(2) 国内外との交流

新型コロナウイルス感染症により人々の求める生活スタイルや価値観は大きく変化している。この変化に呼応して多様化したニーズに応え、グランシップを活用し学術・文化芸術への支援と国内外との交流を促進する役割を担うことが財団には求められている。

コロナ禍が明け、人の動きやグランシップの利用率が戻りつつある中で、施設利用に際しては、「あなたと世界を文化でつなぐ広場」、「にぎわいと活力を生み出す広場」を2つの柱に、事業を推進する。

- ・「あなたと世界を文化でつなぐ広場」では、文化芸術の創造及び参加活動を支援し、関係機関と積極的な連携を取りながらコンベンション等を誘致することで、静岡県と世界とがつながる国際コンベンションホールとしてのグランシップの活用を進める。
- ・「にぎわいと活力を生み出す広場」では、屋外でのイベントや、県民が気軽に来場できるイベントの誘致を積極的に行うことで、新県立図書館の整備を見据えながら、東静岡地区のにぎわいや地域住民のつながりが広まるよう、東静岡地区全体の賑わい拠点としての役割を強化する。
- ・コロナ禍による急速なデジタル化によってウェブ会議等のオンラインコミュニケーションが急激に普及し、既存の開会方法にとらわれない催事が増えたことを踏まえ、さらに使いやすい施設となるよう、利用者の「多様なニーズに応える、安心・安全、快適な施設」運営を進める。

① あなたと世界を文化でつなぐ広場

グランシップは開館当初から、国内外の交流を促す拠点として、静岡県民に限定されない多くの方々が来館し、静岡県の魅力を発信する役割を担っている。コロナ禍も明け大規模催事や学会開催が増えている中で、今年度は、県との協働を推進し、県の施策の一翼を担う事で国内外へ静岡県をPRする。

- ・国際会議や国内学会等の開催を誘致するため、静岡県、大規模コンベンション共同誘致協定を結んでいるツインメッセ静岡を中心とした県内各施設及び（公財）するが企画観光局と積極的に連携し、公共団体だけでなく、学校法人や静岡県内の県域団体の主催する団体、過去にグランシップで国際大会・国内大会を実施した主催者・団体やコンベンション企画運営事業者（PCO）、プロモーターなどに対し、定期的な情報収集や営業活動を行う。
- ・財団が企画する事業に加えて様々な文化活動に県民が触れる機会を増やすため、訪問営業したメディア及びプロモーターからの要望をくみ取ることで、新たな催事利用を促進する。
- ・多様化するメディア文化芸術の活動を後押しするため、県や静岡市などと協働し、映画をはじめとする制作側のニーズを調査し、ロケーション撮影の利用を支援する。

② にぎわいと活力を生み出す広場

新県立中央図書館や静岡市によるアリーナ建設など、東静岡地区に新たなにぎわいにつながる計画が萌芽する中で、財団の使命である「人々が“集う・交流する”ことを促進する」のもと、東静岡駅エリアの賑わいを創出し、これまでとは異なる新たな客層の方々に活力を与えるため、以下の項目を推進する。

- ・東静岡周辺のにぎわいに寄与するべく、県が実施する「東静岡駅県有地活用実証実験」や他施設で屋外イベント・マルシェ等の主催者に働きかけ、広場を活用したイベントの開催を後押しする。
- ・新県立図書館完成を見据え、静岡県や関係団体との会議に参加し、同じ東静岡地区のにぎわいと活力の中心となる施設として、今後の事業連携などの計画づくりに着手する。

③ 多様なニーズに応える、安心・安全、快適な施設

より多くの人々にグランシップを利用してもらうためには、公立文化施設として観客や利用者が心から安心・安全に利用できるものでなければならないという前提に加え、多様化したニーズに応じていく必要がある。また SDGs の観点からは、持続可能な社会の実現に向け、施設運営において貢献していくことが求められている。これらを踏まえ、次のことを実施する。

- ・ グランシップ全館に導入した高速通信回線を活用し、コンベンションのバーチャル化など、コロナ禍後の急速なデジタル化により生じた新しいニーズに対応する。
- ・ 県民が学術・文化芸術を創造し、発信する場として、会議ホール、交流ホール、会議室等、多様な施設を有する当館の特性を生かし、催事に合わせた最適な施設の組み合わせや利用方法を提案することで、その活動を側面から支援する。
- ・ グランシップ常駐委託業者*と協働して、主催者に代わりケータリングや清掃、臨時警備等の業務をワンストップサービスで受託する開催支援サービスを推進する。
(※) 財団から警備、清掃、設備、舞台関連業務等を受託し、グランシップに常駐している委託業者
- ・ 県民に施設を身近なものとして認識してもらうため、将来の利用者となる小中学生等の社会科学や職場体験を積極的に受け入れるとともに、効果の高い受け入れ態勢を構築する。
- ・ 自衛消防組織の見直しを図るとともに、PDCA サイクルを意識した防災訓練を実施することにより、火災や自然災害等に柔軟に対応できる体制を維持する。
- ・ 県が策定した中期維持保全計画と連携した、計画的な設備更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努める。
- ・ 引き続き、共用部分の照明の節減、エレベーター稼働数の効率化など、グランシップ常駐委託業者と連携しながら、利用者に影響がない範囲で省エネルギーの推進を図る。
- ・ 電気・ガス使用を最適化し、環境負荷低減を実現する消費エネルギーの管理を図る。
- ・ 持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組みとして、省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。
- ・ サービス向上委員会を開催し、グランシップ常駐委託業者と連携して適切な管理・運営を図るとともに、適宜適切に仕様の見直しの検討を継続する。

(3) 財団経営の基盤強化

社会環境が大きく変化する中、新しい時代を見据え、静岡県の文化振興の牽引者として、文化の力で県民生活の向上と活力ある社会づくりに寄与していくためには、財団自体が長期的に安定的な運営を実現する力を培い続けなければならない。これを実現するために、経営の安定化と、個々の職員の能力育成及び職員が財団の使命達成のために注力できる環境づくりを進める。

① 持続的な活動を支える経営の安定化

先行きを見通すことが困難な環境において、社会環境の急速な変化に迅速に対応していくよう、次の事項に取り組むことにより財団経営の安定化を図る。

ア 安定的な収入の確保

- ・国際会議や国内学会等の開催を誘致するため、関係機関と積極的に連携し、公共団体、学校法人、地域団体の主催する団体、過去にグランシップで国際大会・国内大会を実施した主催者・団体やコンベンション企画運営事業者（PCO）、プロモーターなどに対し、定期的な情報収集や営業活動を行う。
- ・様々な文化活動に県民が触れる機会を増やすため、訪問営業したメディア及びプロモーターからの要望をくみ取ることで、新たな催事の利用を促進する。
- ・グランシップ全館に導入した高速通信回線を活用し、コンベンションのバーチャル化など新しいニーズに対応したハイブリッド学会等のコンベンションを誘致する。
- ・公演内容やターゲットに合った各種媒体を複合的に活用するとともに、広くスピーディーに多様な情報発信ができるウェブを中心とした広報活動を展開することにより、チケット収益の確保を図る。
- ・「中高生鑑賞プラン・交通費支援」制度や、原則1,000円の「子ども・学生チケット」、福祉団体と連携したひとり親家庭等への招待事業を継続的に実施するため、「グランシップ 子どもたちのための文化芸術プロジェクト」を開始し、積極的に企業協賛を募る。

イ 経費の節減

- ・電気、ガスの使用量単価が高水準のまま推移しているため、効率的なエネルギー消費と省エネルギーを推進し、コスト削減を図る。特に、コージェネレーション・システムを活用し、効率的なガス使用を実現しながら、電気使用料の圧縮を図っていく。
- ・年間予算の過半を占める施設管理について、予算管理を厳格に行うとともに、今後増加が見込まれる施設修繕の計画的な施工を図る。

ウ 経営指標の設定

- ・経常利益率や流動比率等、一般企業でも用いられている決算諸表を活用した経営指標のほか、固定費（人件費等）に対する自主財源の割合等、公益財団法人特有の経営指標を設定し、常に健全な財務状況を維持する体制を整える。

② 新しい社会環境での働き方

時代の変化に対応する安定した財団経営には、それを支える人材の確保と職員の育成だけでなく、さらに組織力の向上が必要となる。これらを実現し、一致協力して業務に取り組む専門化集団を目指し、次の事項を実施する。

ア 職員が能力を発揮できる環境づくり

- ・令和5年度に導入した、マネージャーと5人程度の職員からなるグループ制を一層効果的に運用し、業務状況の共有と確実な課題解決につなげるため、業務の実態に沿った人員配置とグループマネージャーの役割明確化を図る。
- ・各職員が望む職務キャリアに応じたキャリアパス制度を運用し、財団の将来を担う幹部職員の育成を図るとともに、各業務に精通したスペシャリストを育成するコースも設け、各職員が目指すキャリア目標への道筋を明確にする。
- ・職員のモチベーションや業務への満足度が経営方針等の浸透にも影響することから、各

事業の情報や外部団体との連携等、財団を取り巻く状況について内部への広報に努めると共に、チャットツール等を活用した誰もが情報にアクセスできるオープンな意思疎通の手法を推進し、財団内のコミュニケーション活性化を図る。

- ・労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断の実施や人間ドック受診費用の助成、ストレスチェックの実施による職員全体の意識環境の把握に取り組む。

イ 高い資質を有する人材の確保と育成

- ・令和5年度に引き続き、財団全体の業務や職種を理解、体験できるインターンシップを実施し、財団の方針と応募者の希望がマッチした採用活動を行う。
- ・優秀な新卒者を獲得するため、民間企業の採用活動とほぼ同時期に募集・試験を行うとともに、県内の静岡文化芸術大学や常葉大学等の出身職員による就活広報活動に取り組む。
- ・5種類の勤務区分や、育児・介護のための短時間勤務等の制度を積極的に活用することで、個人のライフスタイルに沿った働き方ができる職場環境の整備を進める。
- ・令和5年度に本格実施を開始した人事評価制度を継続し、管理職との面談、適切な目標設定と、目標達成に向けた管理職の支援及びフィードバックによって、職員の意欲及び資質の向上を図る。
- ・新規採用職員には、年齢の近い職員をメンターとして配置し、仕事や私生活の相談相手とすることで、その成長を支えるとともに、職場への定着を図る。
- ・グランシップ休館日を活用した全職員が参加する研修では、財団経営の改善に向けた職員の意識改革及び行動変容を主目的に置き、業務に必要な知識やスキルの獲得や、財団内のコミュニケーション促進が図れる内容とする。
- ・将来の組織風土づくりにおける最も重要な担い手となる財団プロパー職員に対しては、管理職、グループマネージャー、チーフスタッフ等の階層別に研修機会を設け、職員一人ひとりが力を発揮できる組織についての知識向上を図り、実践に繋げる。
- ・アートマネジメントや広報等、職種別の研修としては、グランシップで行われる県公立文化施設協議会や公立ホール連携支援研修の機会を積極的に活用し、年間を通じて計画的に実施する。

| 研修名 | 主な対象 | 内容 |
|----------|--------|---|
| 月例全体研修 | 全職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・財団経営方針の理解 ・他部署理解と部門間連携 ・業務スキルの向上 |
| 新規採用職員研修 | 新卒等職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーの基本 等 |
| 階層別研修 | プロパー職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ベテラン職員の役割 等 |
| 職種別研修 | 全職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメント ・広報の基本 等 |

グランシップ企画事業等一覧表

☆静岡印…静岡にゆかりのあるアーティストの起用や、静岡の文化資源を活用する等、静岡の要素を含む事業

① 未来を担う子どもたちのために (21 事業、26,950 人)

ア 心を豊かにする多彩な鑑賞

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数(人) | 内容 |
|---|---|-----------------|-------|---------|---|
| 1 | グランシップ 世界のこども音楽劇場 ☆静岡印 | 8/2(金)～ 4(日) | 大ホール他 | 1,800 | 「音」をテーマに、様々なワークショップとオリジナルプログラムを組み合わせた公演 出演：鼓童、シアター・マダム・バツハ(デンマーク) 他 |
| 2 | 【共催】 神奈川フィル オーケストラ・キャラバン静岡公演 2024 | 7/28(日) | 中ホール | 550 | 本格的なオーケストラの演奏を子どもたちが家族とともに気軽に楽しめるコンサート 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 |
| 計 | 2 事業 | | | 2,350 | |

イ 関心・理解・親しみを深める教育普及

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数(人) | 内容 |
|----|--|---------------------|-----------------------|---------|--|
| 3 | 国立劇場歌舞伎鑑賞教室 (2公演) | 6/26(水) | 中ホール | 1,700 | 「グランシップ 伝統芸能シリーズ」の1つとして実施する、学生・初心者向け解説付き国立劇場の出張公演 |
| 4 | 【出前】 中高生のためのオーケストラ(2公演) | 11/15(金) | 磐田市民文化会館 かたりあ | 2,500 | 県内の中高生が本格的なオーケストラの音楽を体験するコンサート。管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団、指揮：アンドレア・バッティストーニ |
| 5 | 【国際交流事業】 ウィーンの風 ウィーンアンサンブル ☆静岡印 | 2/2(日) | 中ホール | 500 | 音楽の本場・ウィーンで活躍する奏者たちによるクラシックコンサート。県内の中高生とも共演。 出演：ウィーン・アンサンブル VIMCA、他 |
| 6 | グランシップ子どもアート体験！登録アーティストミニコンサート ☆静岡印 | 6月～2月 | 県内小学校等 11校 | 1,200 | グランシップ登録アーティストによる学校でのミニコンサート。講師：グランシップ登録アーティスト |
| 7 | グランシップ子どもアート体験！人形浄瑠璃文楽出前講座(2校) | 5/28(火)・ 5/29(水) | 御殿場市立御殿場小、 菊川市立河城小 | 390 | 文楽協会の協力による実演を交えた文楽講座 講師：人形浄瑠璃文楽座 |
| 8 | グランシップ子どもアート体験！宝井馬琴監修講談教室 ☆静岡印 | 未定 | 函南町立東小、 島田市立初倉小 | 200 | 本県出身の六代目宝井馬琴監修による講談教室 講師：宝井琴星、宝井琴鶴 |
| 9 | グランシップ子どもアート体験！玉川奈々福の浪曲教室 | 9/6(金) 11/22(金) | 南伊豆町立南中小、 牧之原市立坂部小 | 150 | 小学生向けの浪曲教室 講師：玉川奈々福、沢村まみ |
| 10 | グランシップ子どもアート体験！狂言ワークショップ | 11/26(火) | 袋井市立袋井南小 | 100 | 小学生向けの狂言教室 講師：三宅右矩 他 *伝統芸能普及プログラムの一環 |
| 11 | 伝統芸能普及プログラム <大学連携> 文楽レクチャー | 5/28(火) | 中ホール | 50 | 大学生を対象とした文楽のワークショップ |
| 12 | 伝統芸能普及プログラム <大学連携> 浪曲レクチャー | 11/22(金) | 映像ホール | 30 | 大学生を対象とした浪曲のワークショップ |
| 13 | 伝統芸能普及プログラム <大学連携> 講談レクチャー | 未定 | 映像ホール | 30 | 大学生を対象とした講談のワークショップ |
| 14 | 伝統芸能普及プログラム <大学連携> 歌舞伎レクチャー | 5/14(火) | 映像ホール | 50 | 大学生を対象とした歌舞伎のワークショップ |

別添資料

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|----|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-------------|---|
| 15 | 伝統芸能普及プログラム ＜教育普及＞ 歌舞伎レクチャー | 5/14 (火) 5/24 (金) 6/13 (木) | 袋井市立浅羽 中、城南静岡中 沼津市立原中 | 300 | 「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞する学校を 対象にした事前レクチャー、歌舞伎の基礎知識・本 番の見どころなどを分かりやすく解説 |
| 16 | 詩人と語ろう！ 言葉を語ろう！ | 9月～11月 | グランシップ 会議室 | 20 | 「しずおか連詩の会」に連動した詩人と交流す るワークショップ 講師：野村喜和夫 他 |
| 17 | グランシップ子どもア ート体験！ 貼り絵ワークショップ | 10/3 (木) | 静岡県立東部特 別支援学校伊東 分校 | 30 | 生徒一人ひとりの表現・魅力を引き出す貼り絵 のワークショップ 講師：福井揚 |
| 計 | 15 事業 | | | 7, 250 | |

ウ 誰もが主人公となる県民参加事業

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|----|---|---|----------------|-------------|--|
| 18 | グランシップ スプリング・フェスティバ ル～グランシップこども のくに ☆静岡印 | 5/3 (金・ 祝)～5 (日・祝) | 展示G、交流 ホール他 | 15,000 | 未就学児を中心に造形体験やあそびを通じて、 ゴールデンウィークに家族で楽しむ機会の提 供。「しずおか食彩フェスティバル」と同時開 催。 |
| 19 | 冬のおくりもの2024 キノ・イグルーの不思議の 国のえいがかん | 未定 | 未定 | 200 | 小さな子どもたちが家族と一緒に世界各国の 映画を楽しめるイベント |
| 20 | 【地域連携事業】 親子で楽しむコンサート (仮) ☆静岡印 | 未定 | 未定 | 1,500 | 県内のアマチュアオーケストラと協働で開催 する親子で楽しむコンサート |
| 21 | 【共催】 静岡県学生音楽コンク ール ☆静岡印 | 予選 6/22 (土), 23 (日) 本選 8/17 (土) | 中ホール、他 | 650 | 静岡県内のクラシック音楽を志す小・中・高生 を対象としたコンクール |
| 計 | 4 事業 | | | 17,350 | |

② あらゆる世代の多様なニーズに応える (19 事業・17,320 人)

ア 心を豊かにする多彩な鑑賞

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|---|--|--------------------|-------|-------------|---|
| 1 | 広上淳一指揮 NHK 交響楽団 | 6/1 (土) | 中ホール | 750 | 日本を代表するオーケストラ NHK 交響楽団 によるクラシックコンサート 指揮：広上淳一、チェロ：上野通明 |
| 2 | Medicine メディソン | 6/29 (土) 30 (日) | 中ホール | 1,700 | イギリスの劇作家・エンダ・ウォルシュ最新作 の日本初演 翻訳：小宮山智津子 演出：白井晃 出演：田中圭 奈緒 富山えり子 荒井康太 (Drs) 企画制作：世田谷パブリックシアター |
| 3 | Banksia Torio ゲスト：アン・サリー ☆静岡印 | 7/14 (日) | 中ホール | 500 | 新しいジャズシーンを創り出し、各メンバーの 幅広い活動で注目のトリオによるジャズ・ライ ヴ 出演：バンクシア・トリオ ベース：須川 崇志、ピアノ：林正樹、ドラム：石若駿、ゲス トヴォーカル：アン・サリー |
| 4 | 上野耕平・三浦一馬 デュオ・コンサート featuring 高橋優介 | 9/19 (木) | 中ホール | 620 | サキソフォン界のトップランナー上野耕平と、 斬新な感性と表現力を併せ持つバンドネオン 奏者三浦一馬によるステージ |
| 5 | しずおか連詩の会 ☆静岡印 | 11/3 (日) | 会議ホール | 200 | 本県出身の詩人・大岡信氏が提唱した連詩の創 作と発表 出演：野村喜和夫、巻上公一 他 |
| 6 | マルティン・ガルシア・ガ ルシア ピアノリサイタ ル | 11/4 (月・ 祝) | 中ホール | 600 | 2021 年第 18 回ショパン国際ピアノ・コンク ール第 3 位入賞・最優秀協奏曲演奏賞に輝いたマ ルティン・ガルシア・ガルシアのリサイタル |

別添資料

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|----|---|------------|---------------|-------------|---|
| 7 | 【出前】 東京フィルハーモニー交響楽団 名曲コンサート ☆静岡印 | 11/16 (土) | 磐田市民文化会館 かたりあ | 1,000 | 日本を代表するオーケストラ 東京フィルハーモニー交響楽団によるクラシックコンサート 指揮:アンドレア・バッティストーニ、ピアノ:仲道郁代 |
| 8 | 伊藤ゴロー + ジャキス&パウラ・モレレンバウム Tribute to Ryuichi Sakamoto | 12/4 (木) | 中ホール | 600 | 2023年に亡くなった音楽家・坂本龍一と共に活動したアーティストたち(伊藤ゴロー、ジャキス&パウラ・モレレンバウム 他)が贈るトリビュートコンサート |
| 9 | GAME MUSIC on BRASS in グランシップ | 12/14 (土) | 大ホール | 1,100 | プロ吹奏楽団 BRASS EXCEED TOKYO によるゲーム音楽コンサート 指揮:大滝実 吹奏楽: BRASS EXCEED TOKYO、他 |
| 10 | グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真&アンドレ・メマリー | 12/20 (金) | 中ホール | 800 | ジャズ・ピアニスト小曽根真と、ブラジルを代表する世界的ピアニスト、作曲家・編曲家アンドレ・メマリーによるピアノ・デュオ・コンサート |
| 11 | 静岡ガス PRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート(2公演) ☆静岡印 | 1/10 (金) | 中ホール | 1,850 | 新年に相応しい内容で贈るクラシックコンサート 管弦楽:富士山静岡交響楽団 指揮:山下一史 ピアノ:中川優芽花 |
| 12 | 静岡 JAM (仮) ☆静岡印 | 2/23 (日・祝) | 大ホール | 1,000 | 磐田市出身のキーボーディスト・ADAMat(アダムアット)とバンドメンバーによる、ジャンルを超えたインストゥルメンタル・セッション 出演:ADAM at 他 |
| 13 | 宮田大・福間洸太郎 デュオ・コンサート | 3/1 (土) | 中ホール | 650 | 名実ともに日本を代表するチェリスト宮田大と2024年に日本デビュー20周年を迎えるピアニスト福間洸太郎によるデュオ・コンサート |
| 14 | 【共催】 音楽公演① | 2月 | 中ホール | 850 | 共催で開催する音楽公演 |
| 計 | 14 事業 | | | 12,220 | |

イ 関心・理解・親しみを深める教育普及

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|----|------------------------------|----------|--------|-------------|----------------------------------|
| 15 | マエストロ・広上淳一のおしゃべりクラシック (仮) | 4/13 (土) | リハーサル室 | 100 | クラシック初心者でも楽しめるトークイベント 出演:広上淳一 |
| 計 | 1 事業 | | | 100 | |

ウ 誰もが主人公となる県民参加型事業

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|----|--|------------------------|---------|-------------|---|
| 16 | グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル 2024 ☆静岡印 | 8/11 (日) | 大ホール | 1,200 | 静岡県内で活動するアマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル |
| 17 | グランシップ 誰もが Wonderful アート ☆静岡印 | 9/20 (金) ~ 10/6 (日) | 展示ギャラリー | 3,000 | 表現や個性を認め合うことを目的とした作品展 静岡市在住のアーティスト鈴木まさこ、静岡県内特別支援学校の生徒・児童の作品を展示 |
| 18 | 【提携】静岡県オペラ協会 創立 55 周年記念公演 『コジ・ファン・トゥッテ』 ☆静岡印 | 未定 | 中ホール | 500 | 県内文化活動団体への活動の場の提供 |
| 19 | 【提携】南仏の風に乗せて デオダ・ド・セドラックの世界 〜深尾由美子ピアノコンサート ☆静岡印 | 未定 | 中ホール | 300 | 県内文化活動団体への活動の場の提供 |
| 計 | 3 事業 | | | 5,000 | |

③ 集いと創造の拠点（3事業・36,000人）

ア 心を豊かにする多彩な鑑賞事業

該当なし

イ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

該当なし

ウ 誰もが主人公となる県民参加事業

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|---|---|--------------------|---------------|-------------|---|
| 1 | グランシップ トレイン フェスタ 2024 ☆静岡印 | 5/18 (土) 19 (日) | 全館 | 20,500 | 鉄道模型コーナーや駅弁販売等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント |
| 2 | 【県委託事業】 グランシ ップスプリング・フェステ ィバル しずおか食彩フ ェスティバル ☆静岡印 | 5/3 (金) ~ 5 (日) | 大ホール・芝生 広場 | 15,000 | ゴールデンウィークに開催する、大人からこどもまで静岡県の「食」の魅力を体験できるイベント。 「グランシップこどものくに」と同時開催。 |
| 3 | 【共催事業】 ふじのくに芸術祭春の祭 典 「授賞式」「総合開会式」 | 2/16 (日) | 中ホール | 500 | ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典 授賞式・開会式 |
| 計 | 3事業 | | | 36,000 | |

④ 伝統芸能の継承と発展（4事業・2,240人）

ア 心を豊かにする多彩な鑑賞

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|---|-------------------|-----------|-------|-------------|--|
| 1 | 人形浄瑠璃文楽（2公演） | 10/12 (土) | 中ホール | 830 | 「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1つとして実施する、文楽協会による文楽公演。 出演：人形浄瑠璃文楽座 |
| 2 | グランシップ静岡能 ☆静岡印 | 1/26 (日) | 中ホール | 570 | 「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1つとして実施する本格的な能楽公演。出演：観世流能楽師 |
| 3 | グランシップ寄席 ☆静岡印 | 2/15 (土) | 交流ホール | 270 | 古典を得意とする本格派落語家による二人会 出演：入船亭扇遊、三遊亭兼好 |
| 計 | 3事業 | | | 1,670 | |

イ 誰もが主人公となる県民参加型事業

該当なし

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

| | 事業名 | 月日 | 会場 | 入場者数 (人) | 内容 |
|---|-----------------------------|----------|------|-------------|---|
| 4 | グランシップ静岡能 能楽入門公演 ☆静岡印 | 9/14 (土) | 中ホール | 570 | 「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1つとして初めて能楽に触れる方や子ども・学生を対象とした解説付き入門公演。事前に子どもたち対象のお稽古を実施し、本公演で披露。 出演：観世流能楽師 |
| 計 | 1事業 | | | 570 | |